

フロントプロジェクト 3
魚河岸にぎわい勉強会

魚の復活&にぎわい創出
魚河岸まちづくり通信



勉強会がスタートしました！



魚河岸地区のにぎわい創出施設の検討を行う「平成 25 年度 第 1 回 魚河岸にぎわい勉強会」を 7 月 23 日（火）みんなの家「かだつて」にて開催しました。

勉強会では、野田市長、遠藤先生（釜石復興ディレクター、工学院大学准教授）のご出席のもと、市より“魚河岸地区にぎわい施設整備構想”について説明を行い、その後、西村浩先生による講演と、参加者との意見交換会を行いました。

《第 1 部 講演会》

1. 魚河岸地区にぎわい創出施設の整備構想について

釜石市の正木総合政策課長から“魚河岸地区にぎわい施設整備構想”について、これまでの検討経過や今後の進め方などについて報告・説明を行いました。

2. 講演

講師：株式会社ワークヴィジョンズ 代表 西村 浩先生

講題：佐賀市・わいわい！！コンテナプロジェクト

～笑顔とアイデアが集まる「街のリビング」～

西村先生より、佐賀市中心市街地における空地を活用した“原っぱづくり”、コンテナを活用したにぎわい創出社会実験を通じた、街なかの再生とにぎわい創出の実例についてご講演して頂きました。

《第 2 部 意見交換会》

遠藤先生、西村先生を囲み、ご参加頂いた市民の皆様と魚河岸地区におけるにぎわいづくりについて、活発な意見交換が行われました。



【野田市長あいさつの様子】

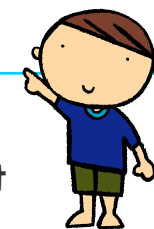


【正木総合政策課長からの報告の様子】



【西村先生の講演の様子】

にぎわいづくりのためのヒントと活発な意見を頂きました！



西村先生による「佐賀市・わいわい！！コンテナプロジェクト」を実例とし、魚河岸地区におけるにぎわいづくりのヒントや事業実現のためのポイントなどについて意見交換をしました。

- 街は“生きもの！”
- ・ちょっとずつできることのアイディアからスタートすることが大切である。
- 今、経験させることが大事！
- ・街なかで子供たちが安全で楽しく遊べる体験をさせる。街なかで遊んだ子供たちは、将来、きっと街なか回帰が起こるはず。
- なぜ“原っぱ”から？
- ・駐車場だらけの街のイメージを変えたい！空き地の価値をもう一度見直し、安全で自由に過ごせる居住環境を取り戻す。
- いろんなアイデアをどう実現すべきか？
- ・夢や妄想をいっぱい描き、モチベーションと目標達成の方向性を共有することが大事である。妄想を少しずつ実現させる。
- 地域住民から要望する場合は？
- ・自分たちには何ができるか？何をやるべきか？を明確にし、行政など互いの立場を理解し合うことが大切である。
- 行政は、しっかりとした“都市戦略”を持つ！
- ・やれることは、何が何でもやる！というスタンスが大事である。
- “気軽に”そして“楽しく”『食とビジネス』を探求！
- ・人口の減少、交通不便等の実情に見合った考え方や取り組みも大事である。
- ・釜石ブランドとなる、新鮮な魚介類を使った“食”をテーマとした取り組みを行う。
- ・『食とビジネス』を達成するために社会実験を行う等、まずは市民自らが楽しいと感じ、楽しくやるのが大切である。
- 持続できる仕組みが大切！
- ・みんなが参加しようとする仕組み、市民にとっても行政にとってもメリットがあれば持続する。



【遠藤先生、西村先生を囲んで乾杯】



【第 2 部 意見交換会の様子】



次回の予定についての重要なお知らせです！

今回、西村先生から「佐賀市・わいわい！！コンテナプロジェクト」の成功するポイントをお聞かせ頂きました。次回は、今後の検討の参考となるコンテナを活用した先進事例を視察し、魚河岸地区におけるにぎわいづくりのための様々なアイデアについて意見交換をさせて頂く予定です。引き続きご協力頂けるようよろしくお願いいたします。

次回は、平成 25 年 8 月 22 日（木）～23 日（金）東京にて、「現地視察・勉強会」を開催します。

詳細なご案内は、改めてお知らせいたします。

問い合わせ

釜石市役所復興推進本部リーディング事業推進室
釜石市只越町 3 丁目 9-13
☎ 0193-22-2111（内線 312・136）